

～ねんどであそんで地球を救おう～

# 【みんなのねんどSDGsコンテスト2023】

～未来はつくれる、感動をつなげる『子ども企業家』発掘プログラム～

「みんなのねんどSDGsコンテスト2023」開催の経緯  
 【「人々が集い感動できる豊かな地域社会を子ども達に繋ぐ」  
 という主催団体（一般社団法人SINKa）の目的の為】

地球温暖化や異常気象などの環境問題、高齢化や少子化などの人口問題、社会課題は山積みです。私たちは子ども達に何が残せるでしょうか。そこで、残野菜（お米、とうもろこし、じゃがいも等）を使った地球にやさしい循環型の新しいねんど「みんなのねんど」に注目しました。地下資源争奪の問題や食品ロス問題の解決の為に、「みんなのねんど」で作品をつくり、あそび終わったらゴミで捨てずに土に戻っていく様子を観察する、こどもと一緒にあそびながら学べる日本初のコンテストとして「みんなのねんどSDGsコンテスト2023」を開催する事としました。  
 また、副題である～未来はつくれる、感動をつなげる『子ども企業家』発掘プログラム～は、美しい地球を未来の子どもたちの手により、更により良いものにして行くため、子どもたち自身で課題を見つけ、そして課題解決に向けて地域と共に躍進してほしい、という願いを込めて副題としております。

「栃木県産を知ってもらおう！残さず食べよう！」

グランプリ

No.21 栃木県宇都宮市 【カテゴリー】 乗り物 【観察場所】 玄関ポスト前  
 前田みゆな(9才)前田ゆりさ(4才)

【感想】 残さず食べようというテーマから、いつも何を食べてる？栃木県の有名な食べ物は何か？ということを考えるに至りました。この企画には全国の方が参加しているということもあり、栃木県の美味しいイチゴや餃子を知ってもらいたいという思いが芽生え、夏に開業し話題になっている宇都宮ライトラインに、ご当地食材を乗せよう決めました。  
 ご当地食材に関しては、まずは粘土の色から作れそうな食べ物を決める。無色は残った粘土で混ぜて作ってみようという手順で、工夫して上手に出来たと思います。  
 「まだ粘土残ってるね、フルーツが残っているからケーキを作ろう」と、4才の子は残った粘土を使って、いちごのロールケーキを作りました。いつも粘土遊びをするときは、自分の作りたいものを作って、余った粘土のことは気にしていませんでしたが、フードロスの話から、おもちゃであっても残さずに大事に使い切ること学んだようです。  
 玄関に設置したため、インターホンを押しにきたお友達や配達の方に「上手に出来てるね！」「これは何？」と聞かれ、「残ったご飯や野菜で作った粘土だよ！」と説明していました。ポストも貼っていたので、粘土の色が白くなってからも、目を引いたと思います。毎日、通る場所に設置したため、日々観察することが出来ました。大雨の日が続きましたが、雨による変化はあまりなく、「雨が降ったのに溶けないんだね？」と不思議そうに観察していました。  
 こちらの粘土を通して、親子共々、地産地消やフードロスについて考え、さらには、ダンゴムシの生態や、粘土と水の関係についても興味をもち、学び大体験となりました。  
 設置場所が石の上だったため、途中から粘土に変化が見られなくなったため、8/26に庭の欄に移動しました。今後も観察を続けていきたいと思っています。  
 この様な素晴らしい企画を考えてくださり、ありがとうございました。



◇【みんなのねんどSDGsコンテスト2023】とは  
 残野菜（お米、とうもろこし、じゃがいも等）を使った地球にやさしい【みんなのねんど（SDGs粘土）】でねんど作品をつくり、その作品を畑やプランターや池などに飾り、自然に戻っていく様子を観察することで、子ども達にSDGsを学んでもらうコンテストです。

◇応募対象について  
 ・3才～小学生のお子様がいる家族や友人同士などのグループ  
 ・3才～小学生のお子様がいる団体（保育園、小学校、クラブ）

◇期間について  
 2023年7月から参加申込を開始し、20を超えるメディアに取り上げられました。想像を超える反響の中、10月に応募を締め切りました。

どんな想いで、  
 どんな作品を作って、  
 どこに飾って、  
 どうやって観察するか、  
 アイディアは無敵大じゃ！！  
 空もとべようじゃ！



## 参加人数は約1000人

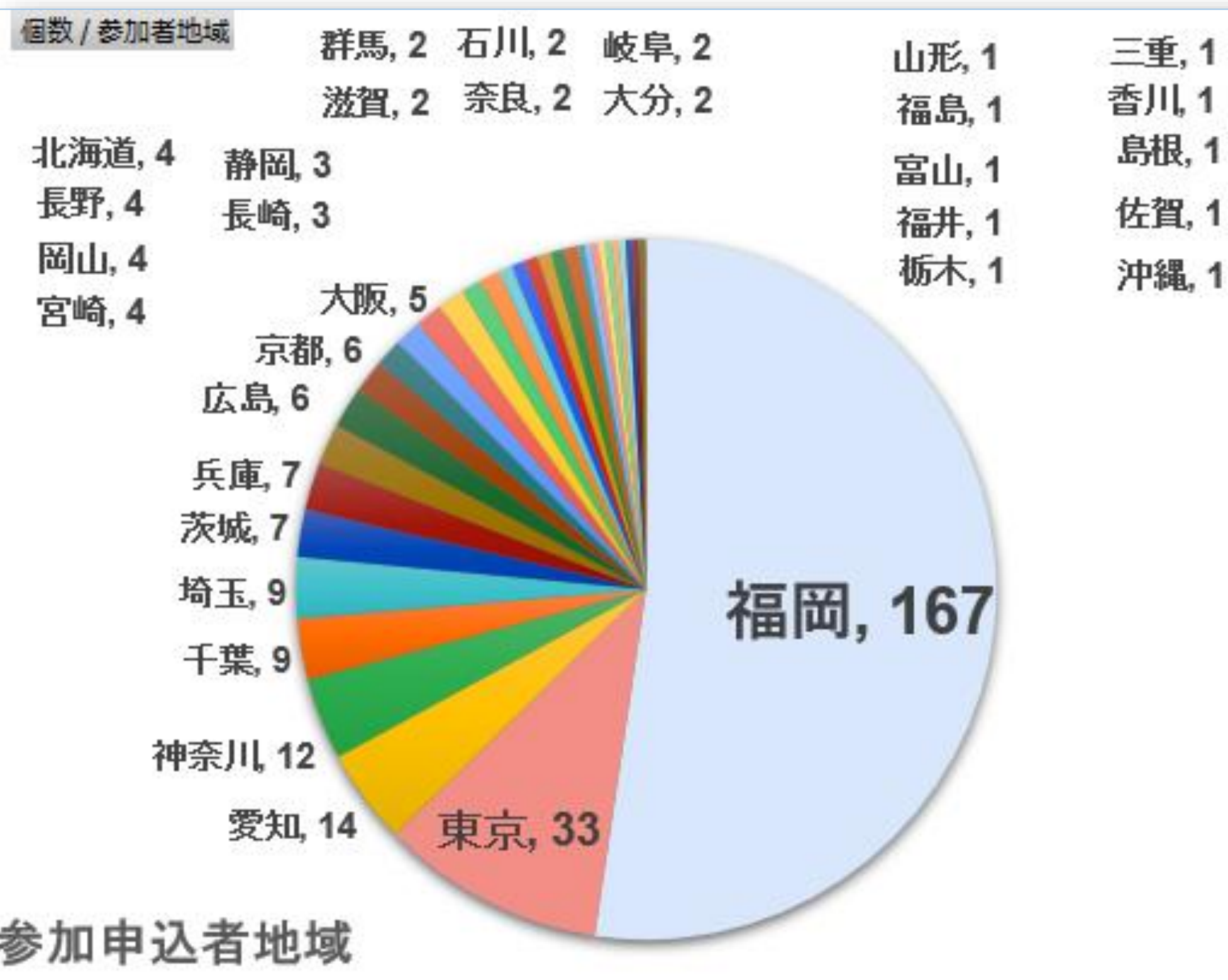
※子どもと保護者の参加人数

参加総数  
 319組  
 ※応募総数260組

参加こども人数  
 636人

- ☆☆☆賞☆☆☆
- グランプリ 1賞
  - 団体賞 1賞
  - 地域賞 3賞
  - 環境賞 3賞
  - 協力賞 3賞
  - 教育賞 3賞
  - アイデア賞 3賞

なななんと！賞はこれだけか！  
 まさしく319組からの選ばれし  
 勇者たちじゃな！  
 びっくりして細くなってしまったんじゃ！！



すごいぞ！北海道から沖縄まで  
 日本全国からこどもがさんかし  
 とる！  
 ホーホーはんぶんは福岡県から  
 なんじゃな～

コンテスト運営 / 事務局  
 【一般社団法人SINKa】  
 住所：福岡市中央区舞鶴1丁目3-14  
 代表理事：濱砂清  
 設立：2010年5月（2006年4月活動開始）  
 事業内容：社会起業家や社会起業家創出を支援するためのネットワークで、社会起業家になりたい、社会起業家を応援したい、社会的企業を経営したいという人々の集まりとしてH18年4月に任意団体として設立。主な事業としては社会起業家・社会的企業の企画支援/コンサルディング事業。  
<https://www.sinkweb.net/>



【みんなのねんどSDGsコンテスト実行委員会】  
 ・一般社団法人SINKa（運営/事務局）  
 ・株式会社まらす  
 ・株式会社フラウ  
 ・地球環境防衛軍.福岡支部



楽しく遊んだ後は、地球の栄養に♪環境にやさしい♪自然にかえる♪

# 「みんなのねんど」



可能性は無限大！？  
☆☆ねんどであそんで地球を救おう☆☆

詳しい遊び方はこちら



「みんなのねんど」って、何???

お米やじゃがいも等、食品ロスとして廃棄される材料を使い作られた粘土です。楽しく遊んだ後は、畑や花壇、海の中などに置いておくと、野菜や花、海藻に栄養を与え、そして最後は自然にかえります。

## みんなが作った「みんなのねんど」作品♪



### みんなの感想



臭いが無かったので使いやすい。  
子どもが作った作品捨てるタイミングが…で悩んでたんですけど、庭に飾れ作った後悩まなくていいので嬉しいです。

久しぶりに親子で工作できて楽しかったです！  
素敵な機会をありがとうございます。

土に戻る素材ということで、植物を育てる祖父母へのプレゼントも作っていました。

柔らかい色がとてもよかった。  
遊んでいても手がべたつかなくてよかった。  
子どもと地球環境や食品ロスについて話す機会になった。

[みんなのねんど お問い合わせ] 一般社団法人 SINKa

TEL:092-762-3789

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

